

「八幡市子ども会議」だより

発行：八幡市教育委員会 令和4年2月

「八幡市子ども会議」とは

「八幡市子ども会議」は、「八幡市の未来を担う子どもたちが、あらゆる人に対する思いやりや、いたわりの心、生きることの尊さについて考え、人々が生涯を通じて等しく、充実した生活ができる社会をめざして、自分の意見を表明し、子どもの立場から議論・提言をすること」を目的とし、平成16年度から継続し18年目を迎えた取組です。

本年度は、市内小・中学校と京都府立京都八幡高等学校の児童・生徒30名の委員が、昨年6月から本年2月まで、八幡市をよりよくすることを目指し、自分たちで決めたテーマについて、話合いや施設の見学、さらには調査研究活動を行い、市長への提言にまとめてきました。また、活動を進めるに当たり、立命館大学政策科学部 稲葉光行教授に御指導いただくとともに、稲葉ゼミの大学生にも活動のサポートをしていただきました。

「令和3年度 八幡市子ども会議 ー市長への提言ー」

令和4年1月15日にオンライン（ZOOM）にて、「八幡市子ども会議 ー市長への提言ー」を行いました。各班の主な提言内容を紹介します。

小学生 A 班

八幡市のクリーニング大作戦!!!～都市鉱山の観点から～

子どもの視点から不法投棄喚起ポスターを作成して、ポイ捨てや不法投棄がある場所に掲示すること。家電製品を捨てることのできる場所を提供し、その中に含まれる有機半導体を業者が回収することで、リサイクルを促進させることを提言しました。



中学生班

八幡市の魅力を SNS で発信

石清水八幡宮だけが観光客数が多く、他の場所の観光客数が少ない。そこで若年層から40・50代にも人気のあるTikTokを開設して、八幡の魅力動画を発信してもらえるように提言しました。



小学生 B 班

うんてい大会～モンキーチャレンジカップ～

さくら近隣公園にあるうんてい（モンキーチャレンジ）を活用して、うんてい大会（モンキーチャレンジカップ）の実施をすることで、小中学校の交流や子どもからお年寄りまでが参加することで、さくら近隣公園の活性化をはかることを提言しました。



高校生班

地域住民の健康増進及び壮年期層の運動習慣の確立

八幡市推奨の活動量計や男山ハイキングコースを利用することで、地域住民の健康増進及び壮年期層の運動習慣の確立を目指すこと、男山ハイキングコースを歩きたくなるようなMV（ミュージックビデオ）を作成し、八幡市の魅力を発信できるように提言しました。



小学生 C 班

やわたけストローを広めようー脱?プラスチック作戦ー

八幡の竹をもっとPR、有効活用したい!、SDGsの視点での問題解決（プラスチック、使い捨て製品を減らしたい）、紙ストローが使いにくいという思いから竹から制作したストロー（やわたけストロー）を利用してもらうように提言しました。



講評 立命館大学政策科学部教授 稲葉光行先生

今年子ども会議は、大きく2つの挑戦をしました。

1つは、インターネットでの提言です。本当に出来るのか不安で、インターネットのトラブルもありましたが、インターネットとはどういうものかが体験出来て、結果的に挑戦して良かったと思います。

もう1つの挑戦は、SDGsについて考えたことです。持続可能な発展できる社会って意味ですけど、着実にみんなが幸せになることを目指す、そういうことなんだろうなと思いました。SDGsが子どもたちの心の中に芽生え、八幡SDGsが生まれた瞬間なのでは、と提言を聞いて思いました。



「八幡市子ども会議」を終えて

今年度最後となる「子ども会議」を2月に開催し、活動の振り返りを行いました。最後の会議もオンライン開催でしたが、オンライン上で1年間を振り返りながらポスターを作成しました。コロナ禍の中でしたが、1年間で班員同士の絆も深まり、最後は名残を惜しみながら、1年間の活動は無事終了しました。

来年度の「八幡市子ども会議」も新たな視点からの提言に取り組みたいと思います。